

全塾協議会報

2015年3月31日発行
2015年第3号

選管、選挙規則改正へ

選挙の公平性・透明性拡大を目指す

2月26日(木)三田キャンパスにて行われた平成27年度2月期全塾協議会定例会の協議事項にて、選挙管理委員会から「選挙規則改正」の申請がなされました。

改正案には、「全塾協議会事務局に所属する者は選挙管理委員として任命することができない。」(改正案5条2項)や、「選挙管理委員会は、健全な塾生自治と選挙運営のため、選挙期間中の管理運営については情報公開しなければならぬ。」(改正案9条2項一部)といった内容の条項が付け足されます。

これらは選挙管理委員会を全塾協議会事務局から完全に独立させるためのものでもあり、また、選挙の管理運営の情報公開を義務付けることで、より選挙の公平性を保証する内容となっております。

これは、次回再選挙に向けて、インターネット投票の実施を見通しているからだと思います。

今回の議会では、諸田局長の規則変更に対して慎重な決定の必要性を理由に、次回議会へと審議を継続することに決定しました。

今回の規則変更は、全塾協議会、並びに選挙に対する塾生の理解を得るための努力の一つだと考えられます。

また、今後の選挙に関する動きは、選挙管理委員会により、順次公開されます。

今月のあいさつ

文化団体連盟本部
常任委員会委員長
河野維一郎

こんにちは、文化団体連盟本部常任委員会委員長の河野維一郎です。文化団体連盟本部では、慶應義塾大学における文化系サークルを取りまとめ、団体への交付金の交付や三田部室の管理等を行っております。さて、今回私が「あいさつ」の執筆を頼まれたのは、今月をもって私が卒業し、その任を解かれるからです。文化団体連盟本部には3年、委員長としては1年在籍致しました。しかし、委員職、全塾協議会の議員としての1年間はとても短いもので、幾つかの改革を行うことはできたものの、根本的な解決には至ることができなかったように感じています。すなわち、文化団体連盟本部の存在意義を確固たるものにする、ひいては全塾協議会の存在意義を確固たるものにするからです。それは選挙管理委員会の委員長を務めた経験もこの思いを強くするものでした。残された時間の少ない私には、もうできることは限られています。今後は、優秀な後進に思いを伝えること、そして私の経験を伝えることが最良の選択であり、次代を担う諸君に期待するものです。

オリエン開催迫る!

春の訪れとともに、約6500人以上の新入生が新たに塾生の一員に加わりまします。彼ら新入生が充実した塾生生活を送るための最初の一大イベントとして、今年も「オリエンテーション」が開催されます。

今年のオリエン期間は4月2・3・4・6日の4日間です。

このオリエンテーションは、慶早戦支援委員会と三田祭実行委員会の1・2年生によって構成される「オリエンテーション実行委員会」によって運営されています。

活動内容として、オリエン期間中はパンフレット作成や教室割り、参加団体向けの説明会などがあり、また、当日は警備など肉体労働も多く、大変なそうです。

しかし、こうした陰の支えがあつてこそ、多くの塾生が慶應義塾の繋がりを、新たに感じることが出来ます。

議会公告

平成27年2月期全塾協議会定例会は2月26日(木)、三田キャンパス第一校舎132教室にて開催されました。報告事項・協議事項は左記の通りです。

- 事務局による業務報告(総務部、財務部、広報部、企画部)
 - 全塾協議会議長の選任↓可決(福利厚生機関本部代表・野口君)
 - 三田祭実行委員会の収入印紙代に関する独自財源特別支出承認申請↓可決
 - 国際関係会の飲食費、会場費、郵送費及び印刷費に関する独自財源特別支出承認申請↓可決
 - 共済部の通信費に関する独自財源特別支出承認申請↓可決
 - 全国慶應学生会連盟の贈答品費に関する独自財源特別支出承認申請↓可決
 - 選挙管理委員会の選挙規則に係る審議・審議継続
 - 福利厚生機関本部の交代承認申請↓可決
- また、次回の全塾協議会定例会は3月24日(火)に三田キャンパスにて開催予定です。

応援指導部とは？

全塾協議会報では、先月から、全塾協議会において議決権を持つ上部団体の一角を担う「福利厚生機関本部」に所属する各団体を紹介しています。

今回は、3月6日に応援指導部と全塾協議会事務局の関係の発展に向けて、全塾協議会広報部が行った応援指導部主将の堤君への取材における内容を紹介します。

応援指導部は、福利厚生機関のひとつであり、体育会の応援を中心に、塾生に義塾の一員としての自覚や誇りを感じてもらえるような環境づくりを使命として活動しています。また、慶應義塾大学の各行事への参加や、三田納涼カーニバルでのステージ出演などを通じて慶應義塾大学と地域を結び繋ぎ役も担っています。

最後に「ステージ」は三田祭などのステージや、また、吹奏楽団は定期演奏会を毎年12月に行っています。

堤君はリーダー部に所属しながら、また、応援指導部全体の長である主将を務めています。

また、3つの部門は練習は個別に行いますが、応援はもろんのこと、合宿なども合同で行っており、部全体としての団結力はとても強いものとなっています。

基本的な活動として、大きく「応援」、「式典」、「ステージ」の3つに分けられます。

まず、「応援」は、塾野球部を始め、各体育会の応援に駆けつけ、試合を盛り上げていきます。次に、「式典」は、入学式、卒業式や連合三田会など各種行事において、応援デモンストラーションを行っています。
公式マスコットキャラクター「ユニコンくん」
ピコパ一面が塾生に大人気



活動の理念として、「応援指導部は、『応援団』ではなく、『応援指導』をするための団体である」としています。

なぜなら、慶應義塾の名を背負い戦う選手達を鼓舞するため、応援席の観客の方々ひとりひとりに応援を指導し、応援席全体を応援団としているからです。そのため、単に大きな声を出すだけでなく、時には一言で観客を笑わせ、応援席を楽しく盛り上げることも大切にしています。

問題点としては、「華の慶早戦」の観客数の減少があります。春の慶早戦は新歓行事の一環として、まだ盛況していますが、秋は寂しい状態となっています。応援指導部は、観客なしに慶應の応援は始まらないという理念からも、この問題は重大となっています。

このことについて堤君は、「『慶應生なら行こうぜ』っという感覚が無くなってきていると感じる。確かに、スポーツに興味が無いのは、しょうがない気もするが、もっと慶早戦の魅

ユニコンくん Twitter

@unicorn_kun

応援指導部の活動に関する情報を随時配信しています。ぜひフォローをしてみてください。

力をアピールしていきたい。」と述べます。

応援指導部の感想として堤君は、「応援指導部はプレイヤーもマネージャーもやらないといけないので、経験がとて豊富。自分を成長させたくて入る人も多し、また、実際成長すると思う。」と述べています。

また、部員に対しては、「ただメンバーが良いから部が好きだとかではなく、クラスメイトといった部以外の友人にも胸を張って誇れるような部になりたいし、それぐらい部の事を好きになってもらいたい」と述べていました。

今回の取材を通して、応援指導部の塾への貢献を再認識しただけでなく、その応援指導部もまた、塾生に初めて認識されました。こうした塾生と応援指導

部との関係は、塾生と全塾協議会の関係にも通ずるものがあると思われました。

是非、この春は神宮にて彼らと共に塾野球部を応援に行きましょう。

事務局報告

○総務部

総務部では定例会の連絡、議案受付、資料作成などの議会運営に関わる通常業務を行っています。また今年8月末に開催予定の来年度のリーダーズキャンプの日程を調整しています。詳細が決まり次第、改めて報告します。

○財務部

財務部では、先月に引き続き予算執行計画書の精査や帳簿の受け取りなどを行っています。ほとんどの団体から提出されましたので、これから監査を行います。また、3月19日に帳簿講習会を行い財務管理をよりしつかりとさせていきます。財務内容をよりわかりやすくするために、情報発信や書式の変更等も行います。

○企画部

企画部は4月以降に行う各種業務のための準備を適宜行っております。また、3月には、応援指導部との懇親会を開催しました。2015年度も全塾協議会事務局と塾生、各団体との橋渡し役として業務を行う所存です。

全塾協議会事務局

三田本部
学生団体ルーム27番
日吉支部
塾生会館101号室
発行・編集人 高井 康佑
お問い合わせ
info@keio-zenkyo.net
ウェブページ
http://keio-zenkyo.net
Twitter
@keio_zenkyo
Facebookページ
https://www.facebook.com/zenkyo_public

○広報部

全塾協議会報の定期発行